

# 平成27年度 ひょうご防災リーダー講座受講者募集

～地域防災の担い手となるリーダーをめざしましょう！～

私たちは、いつ、どこで大きな災害に遭遇するか分かりません。阪神・淡路大震災の経験から、災害被害を軽減するには地域住民の助け合い、支え合いが大切であるということ学びました。防災や危機管理に関する知識・技術を身につけ、地域や職場の安全を守らなければなりません。私たちにできるのは事前に備えて、被害をできるだけ軽減することです。

多様化、多発化する自然災害、今後、発生が懸念される南海トラフ巨大地震や原発事故等による複合的な大災害などから、人命の安全を第一に考え、地域住民と助け合い、被害の軽減を図るためには、行政はもとより県民一人ひとりの防災への取り組みをより一層促進させる必要があります。

このような観点から、地域防災の担い手である自主防災組織等のリーダーの育成を目的とした「平成27年度ひょうご防災リーダー講座」を10月10日（土）から半年間にわたり、計12日間開講します。

この講座は、南海トラフ巨大地震など大規模災害に備えるため、防災分野の一流講師陣による講義に加え、地域で直ぐにでも取り組むことが出来る実践的なプログラムとして、地域防災計画づくり、避難所運営ゲームHUG（風水害編）、防災DIG、災害対応図上演習（ブラインド型）、クロスロードゲームなどのワークショップ型の研修や、地域防災訓練への参加等多彩なカリキュラムにより構成されています。

**日 程** 平成27年10月～平成28年3月のうち 12日間

**会 場** 兵庫県広域防災センター

**受講対象** 現在、自主防災組織で活躍されている方や、今後、自らの地域で積極的に地域防災の担い手として活動しようとされる方で、兵庫県内在住、在勤、在学の方

**募集人員** 120名（申込者が定員を超えた場合は、活動歴、居住地等を考慮して決定します。）  
※過去に防災リーダー講座を修了し、「ひょうご防災リーダー」の称号が授与された方は受講することができません。

**申込期間** 平成27年8月1日（土）～9月30日（水）必着

**受講料** 無料（教材等の一部実費負担あり）

**修了要件** ○右頁、下段を参照願います。

**講座修了後は・・・** 知事名の修了証と「ひょうご防災リーダー」の称号が授与され、地域防災の担い手として活動していただきます。さらに、日本防災士機構が認定する防災士の受験資格が付与されます。また、居住地（又は勤務地）の県民局、市町に修了者名簿を送付し、活動機会を提供します。

**申込方法** インターネットもしくは郵送でお申し込み下さい。裏面QRコードもしくは、[広域防災センターホームページ（http://www.fire-ac-hyogo.jp/）](http://www.fire-ac-hyogo.jp/)の「平成27年度ひょうご防災リーダー講座参加申込」ページからお申し込み下さい。

※郵送の場合は、別紙受講申込書に必要事項を記入の上、お申し込み下さい。（郵送先は裏面参照）



## 平成27年度「ひょうご防災リーダー講座」カリキュラム

※講師等の都合により講義日、講義内容を変更する場合があります。



	第1時限(10時15分～11時35分)	第2時限(12時30分～13時50分)	第3時限(14時10分～15時30分)
1回目 10月10日 (土)	開講式 オリエンテーション 「自己紹介・役割分担等」	南海トラフ地震対策(100分) 【関西大学社会安全研究センター長・教授 人と防災未来センター長 河田 恵昭 氏】	兵庫県の防災の取組 ～南海トラフ地震対策～ 【兵庫県防災企画課防災計画参事 河本 要 氏】
2回目 10月24日 (土)	被災者の生活支援制度 【関西大学社会安全学部教授 山崎 栄一 氏】	防災体験学習 放水体験・簡易救出器具取扱体験・ロープ結索・煙避難体験・地震体験・備蓄倉庫見学 【広域防災センター職員】	
3回目 11月7日(土)	地域(コミュニティ)防災の創造 【名古屋大学大学院環境学研究所教授 田中 重好 氏】	地区防災計画づくりや様々な防災ワークショップの手法を学ぶ(講義及び演習) 【人と防災未来センター研究主幹 宇田川 真之 氏】	
4回目 11月28日 (土)	災害時要援護者支援対策 【横浜市立大学准教授 石川 永子 氏】	災害情報が命を救う—現場で考えた防災 【NHK解説委員 山崎 登 氏】	近年の豪雨による水害・土砂災害発生 ～メカニズムの解明と犠牲者ゼロを目指して～ 【神戸名誉大学教授 沖村 孝 氏】
5回目 12月5日(土)	避難所運営ワークショップ(HUG)〈風水害版〉 【一般財団法人消防科学総合センター職員】		
6回目 12月12日 (土)	原子力災害対策 【京都大学原子炉実験所教授 中島 健 氏】	風水害の発生メカニズムとその対応 【神戸地方気象台防災気象官 小林和樹 氏】	東日本大震災からの復興状況 【関西大学社会安全学部准教授 越山 健治 氏】
7回目 1月9日(土)	超広域大規模災害に備える 【神戸学院大学現代社会学部客員教授 松山 雅洋 氏】	普通救命講習 【三木市消防本部・小野市消防本部・広域防災センター職員】	
8回目 1月16日(土)	災害ボランティア活動の実践 【ひょうごボランティアプラザ 高橋 守雄 氏】	リスクコミュニケーション(講義及び防災減災クロスロードを使ったワークショップ) 【慶應義塾大学商学部教授 吉川 肇子 氏】	
9回目 1月30日(土)	歴史と現代を対比し巨大地震を克服する 【名古屋大学 減災連携研究センター長・教授 福和 伸夫 氏】	災害の社会的影響 「災害過程・被災者生活」(講義及び演習) 【兵庫県立大学環境人間学部准教授 木村 玲欧 氏】	
10回目 2月6日(土)	行政の災害対応事例と教訓 【兵庫県元副知事 兵庫県国際交流協会理事 齋藤 富雄 氏】	実践的な地震防災訓練の進め方DIG 【防災情報&研究所代表 高梨 成子 氏】	
11回目 2月27日(土)	建物の耐震化と長周期地震動 【京都大学大学院地球環境学教授 清野 純史 氏】	地域防災の実践活動とその課題(講義及びパネルディスカッション) 【コーディネーター】 【地区防災計画学会事務局長 筒井 智士 氏】 【パネリスト】 自主防災組織のリーダー 等	
12回目 3月12日(土)	地域の防災リーダーに期待すること 【神戸大学名誉教授 室崎 益輝 氏】	受講生によるレポート発表 閉講式	防災士試験(希望者のみ)

○修了要件

① 上記カリキュラム(防災士試験を除く。)の内、3分の2以上の出席

② 次の2つの自主課題に係るレポートの提出(必須)

- 地域防災訓練への参加及びレポート受講者の地元の地域防災訓練に参加し、その内容及び感想等についてレポートをまとめ提出  
※事情により地元の地域防災訓練に参加出来ない場合は、三木市内(青山地区11月22日、緑が丘地区12月13日、自由が丘地区平成28年1月17日等)の地域防災訓練に参加し、所要のレポートを提出
- 取材及びレポート:  
地元の自主防災活動について、地元リーダー、市町防災担当、消防署等への取材を行い、その課題及び対応策等をレポートにまとめ提出

③ 普通救命講習修了